

令和5年度 算数科 授業改善推進プラン

大田区立雪谷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・すべての学年において3観点で目標値を上回っている。特に、「思考・判断・表現」の観点においては、区の平均を大幅に上回っている。これは、自力解決の時間を確保し、互いの考えを伝え深め合う問題解決型の授業を継続していることによるものと考えられる。
- ・「数と計算」の領域は、非常に高い正答率である。タブレット端末を活用し、児童が意欲的に繰り返し学習をしている成果が出ていると考えられる。

(2) 課題

- ・図形の学習において、理解が十分ではない児童が一部見られる。
- ・小数や分数で数直線上に示された数値の読み取りができていない児童が見られる。
- ・割合や比を活用する力が身につけていない児童が一部見られる。
- ・「思考・判断・表現」の観点は、目標値を上回っているとはいえ、3観点の中では1番低い値となっている。見方や考え方を働かせ、既習事項を活用する中で、考えたり判断したり表現したりする学びを充実させる必要がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

※ ◎…目標値を上回った。 ○…目標値と同程度。 △…目標値を下回った。

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第4学年	◎	△	△
第5学年	◎	◎	△
第6学年	◎	◎	◎

(2) 分析（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・目標値より、大幅に上回っている。数量や図形についての知識、技能は十分身に付いている児童が多い。	・目標値より、大幅に上回っている。思考・判断・表現は、十分身に付いている児童が多い。	・目標値より、大幅に上回っている。主体的に学習に取り組む態度は十分である児童が多い。数量や図形についての技能は十分身に付いている児童が多い。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・目標値より、大幅に上回っている。数量や図形についての知識・は十分身に付いている児童が多い。	・目標値より、大幅に上回っている。思考・判断・表現は、十分身に付いている児童が多い。	・目標値より、大幅に上回っている。主体的に学習に取り組む態度は十分である児童が多い。数量や図形についての技能は十分身に付いている児童が多い。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・補数の理解を確実にするために、具体物やフラッシュカードなどを授業の導入に繰り返し行う。 (授業構成) ・既習の学習内容をより定着できるように、計算カード、プリントなどを活用する。 (指導計画・学習習慣) ・計算カードやタブレット端末での学習を実施し、正解まで取り組ませ、問題数を増やしたり、間違いをそのままにしたりしないことで学習を定着させる。 (学習習慣) ・身の回りのものに着目し、長さや広さなど体験を通して、単位を適切に選択できるようにする。 (授業構成) ・長さやかさの単位を適切に選択して、測定したり、比べたりする。(授業構成) ・一人一台端末での学習を実施し、正解できるまで取り組ませ、問題数を増やしたり、応用問題に挑戦させたりして、学習を定着させる。 (学習習慣) 	<ul style="list-style-type: none"> ・直接比較や間接比較ができる場面を設定し、体験を通して長さや広さについての感覚を養えるようにする時間を確保する。 (指導計画) ・身の回りにある具体物を探したり、使った操作活動を取り入れたりして理解を促す。(授業構成) ・具体物から半具体物、数量に考えを移行することで、スムーズに思考できるようにする。(授業構成) ・日常での場面と結びつけながら立式ができるよう半具体物で表したり、経験と結び付けたりするように、提示の仕方を工夫する。 (授業構成) ・どのようにすればうまく比べたり数えたりできるのか、友達との対話的な学びによって、理解を深めさせる。(授業構成) ・ブロックなどの具体物を操作したり、図を用いて考えさせたりして、理解を促す。(授業構成) ・考えたことを説明したり、友達との対話的な学びによって、理解を深めたりして、問題場面を解決できるようにする。(授業構成) 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体物や図などを用いて考えた過程を通して、日常生活に生かそうとする良さや楽しさを実感させる。 (指導計画・授業構成) ・量の学習では活動を通して、量感覚を養い、楽しんで活動できるようにする。 (指導計画・授業構成) ・数量の関係がつかめない時や解決の仕方が分からない時には、図に表すとよいことに気付かせる。 (授業構成・学習習慣) ・考えた過程を通して、日常生活に生かそうとする良さや学習に活用できることを実感させる。 (指導計画・授業構成) ・一人一台端末での学習を取り入れる。繰り返し問題に取り組んだり、すぐに正誤を確かめたりすることで、学習問題に主体的に取り組めるようする。(授業構成)

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・正確に問題内容を把握して答えを導き出すために、問題文を正しく読み、必要な数値情報を把握するよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・考えを広げ、新たな事柄に気付けるように、表現の手段を選択したり、視点を明確にしたりして、考えを伝 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が主体的に学習に取り組む、達成感を味わえるように、課題設定や問題提示の仕方を工夫する。また、

<p>指導する。 (指導計画・授業構成)</p> <ul style="list-style-type: none"> 既習の学習内容がより定着するように、ドリルパークやタブレットドリルを活用した繰り返し学習を継続して行う。 (指導計画・学習習慣) 既習の知識、技能と結び付けながら、除法などの新しい計算や図形、棒グラフなどが理解できるよう指導する。 (指導計画・授業構成) 正確に問題内容を把握して解答できるようにするために、算数用語を正しく使えるようにする。また、考え方を伝えるときにも、既習の用語を使うように指導する。 (指導計画・授業構成) 	<p>え合ったり検討したりする時間を確保する。 (指導計画・授業構成)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを説明する際には、既習事項や算数用語を用いて、分かりやすく簡潔に説明する力を身に付ける指導をしていく。 (指導計画・授業構成) 正しく演算決定ができるよう、問題文の読み取り方を指導したり、既習事項を確認したりする。また、図に表したり、具体物を使用して文章問題の場面設定を視覚的に把握したり、順序立てて考えたりする機会を設定する。 (授業構成) 	<p>見通しをもって適切な考えや解決方法に導いていくよう指導する。 (指導計画・授業構成)</p> <ul style="list-style-type: none"> 時間や長さ、面積等の量感を養ったり、学んだことを日常生活や次の学習場面に生かしたりしていく態度を養っていけるように授業を工夫する。 (指導計画・授業構成)
---	---	---

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 図形領域において、角の大きさを測る学習の際には、分度器を使って計測する時間を多く設ける。 (授業展開) 分度器やコンパスなどの用具を正しく扱うことができるように習熟を図る時間を設ける。(授業展開) 小数や分数のしくみを数直線上で確認する。 (授業展開) 既習事項の習熟を図るために、タブレットドリル等を活用する。 (指導計画) 学習の系統性を児童が意識できるように、新しい単元に入る際には、前学年で学習した関連する内容を復 	<ul style="list-style-type: none"> 自力解決の時間を十分に確保し、自分の考えを、言葉、数、式、図、数直線、記号、表、グラフなどを用いて表し、説明できるようにする。 (授業展開) 他者の考えと似ているところ、違うところを比べ、より良い考えの再構築を図る。 (授業展開) 数直線のかき方を確認し、数の関係を押さえて立式し、説明し合う活動を授業で多く取り入れる。 (授業展開) 1つの問題でも様々なやり方を考えさせて、それを説明し合うことによって多様な考えを知り、考えが深 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル教科書を積極的に活用して、イメージをもちやすくし、苦手意識のある児童たちも関心をもてるように工夫する。 (授業展開) 割合や比を生活で使う場面に置き換えたり、学んだことを日常生活や次の学習場面に生かしたりしていく態度を養っていけるように授業を工夫する。 (指導計画・授業構成)

習する時間を確保する。 (授業展開)	まるように授業の展開を 工夫する。 (授業展開)	
-----------------------	--------------------------------	--